

農林水産省  
農産局長賞

# “堆肥を極める”とのテーマの下 堆肥、汚泥等の 国内資源を原料に活用した肥料の製造・販売

## 朝日アグリア株式会社

肥料製造

畜ふん

下水汚泥

その他

資源循環型農業の実現、国内肥料資源の利用拡大による肥料コスト低減・安定供給

### 団体紹介

団体名：朝日アグリア株式会社

所在地：東京都豊島区（関東工場：埼玉県神川町）

団体の主な活動：① 堆肥を活用した粒状複合肥料の製造・販売 ② 下水汚泥由来肥料の活用挑戦

ウェブサイト：<https://www.asahi-agria.co.jp>

### 取組概要

#### 背景・目的

国際情勢の変化に伴う肥料価格高騰、食料安全保障の課題を背景に、自社の強みを活かし、資源循環型農業の実現、堆肥等国内肥料資源の利用拡大による肥料コスト低減・安定供給を図り、日本農業の発展に貢献する。

#### 取組内容・ポイント・効果

原料とするバイオマス

堆肥（家畜ふん・食品残渣）、燃焼灰（鶏ふん・木質等）、乾燥菌体肥料、菌体りん酸肥料

国内資源肥料の年間製造量 / 全肥料の年間製造量（製造率）

74,700t / 106,900t（69%）

#### <取組内容>

- 混合堆肥複合肥料、指定複合肥料、菌体りん酸肥料活用肥料を日本で最初に生産・販売
- 堆肥を主体に国内資源を積極活用した粒状複合肥料を製造し、堆肥活用肥料の年間総販売量2万t達成
- 下水汚泥燃焼灰の活用挑戦し、菌体りん酸肥料入り混合堆肥複合肥料を日本で最初に生産・販売

#### <取組のポイント>

全国の農家に堆肥等国内肥料資源を活用した肥料を届けるために商品開発、プロモーションについてJAグループと連携することで、42都道府県で流通させている。また、各県、地域から発生する家畜ふん堆肥等を活用し、特徴ある「地域循環肥料」を組成し、11県で展開している。更に4,700店舗以上のホームセンターネットワークを活用し、一般消費者にも提供している。

農家が使いやすい肥料を安定生産するために行っている取組としては、家畜ふん堆肥の調達先を工場近隣を中心に、15都道府県、40ヶ所まで拡大させると共に、原料の状態に応じて「発酵」「乾燥」「篩別」「粉碎」の原料加工を自社工場で実施することで高品質な肥料製品の製造を行っている。一般的なペレットに加え、独自技術の「アグレット造粒」を用いることで、堆肥使用割合を高めると同時に機械施肥適正が極めて高く、BB肥料原料として利用が可能である。

#### <取組による効果・今後の目標>

当社が日本初の混合堆肥複合肥料「エコレット」の生産・販売を開始してから10年以上が経過し、当該肥料の販売実績も年間1万tを越え、全国の農家の皆様にご愛顧頂いている。全国の農家の皆様が、ごく自然に堆肥等国内肥料資源を活用した肥料を使用している未来を目指して、引き続き活動していきたい。

